

SQUARED CAM

FULL PROTECTION COVER DRONE WITH CAMERA

INSTRUCTION MANUAL

ジーフォース スクアード・カム ユーザーマニュアル

Ver 1.00

目次

1. 安全上のご注意	
はじめに	02
2. 製品について	
製品仕様	03
内容物	03
送信機各部名称	03
操作モードについて	04
用語について	04
3. フライトの準備	
送信機の準備とLi-Poバッテリーの充電	05
操作モードの変更	06
機体と送信機の接続(バインド)	07
プロペラの交換方法	07
4. フライトをはじめる	
離陸と着陸	08
基本操作	09
ジャイロリセット	10
スピードの変更	10
フリップ(宙返り)モード	10
オリエンテーションモード	11
トリム調整	11
緊急停止	11
5. アプリとの連携	
スマートフォンとの接続	12
スマートフォンホルダーの取付け	13
アプリの説明	13
スマートフォンからの操縦方法	15
写真・動画の撮影	16
6. サポート情報	
FAQ	17
アフターパーツ	18
製品サポートについて	18

1. 安全上のご注意 **必ずお守り下さい**

はじめに

この度はジーフォース SQUARED CAM(スクアード・カム)をご購入頂き、誠にありがとうございます。当製品はWi-Fiカメラを搭載し、手軽に高画質の空撮が楽しめます。また、3軸ジャイロ+加速度センサーに加え、気圧センサーを搭載しており、初めての方でも安定したホバリングが行えます。安全にフライトして頂くため、必ず当説明書を最後までお読み頂き、注意事項をお守り下さい。

フライトについて

- 事前にラジコン製品のフライトが許可されている場所であるか確認して下さい。空港、送電線、鉄道施設、市街地、公共の場所など人の多い場所での飛行はおやめ下さい。天気の良い日中、目視の範囲内でのみフライトし、暗くなったり天候の悪い日には飛ばさないで下さい。
- 電波障害に気をつけて下さい。他の電波使用機器からの影響により、ラジコン用の電波が干渉を受ける場合があります。物理的にも電波的にも障害となる物が無い、見晴らしの良い広いエリアが理想的です。万が一の突発的に起こる電波障害を考慮し、常にあらゆるリスクに備えて下さい。
- プライバシー確保へご配慮下さい。本製品にはカメラが搭載されています。録画/撮影した映像の対象によってはプライバシーの侵害となる恐れがあります。事前に周囲をよく確認していただき、プライバシー確保へご配慮下さい。

ケガにご注意下さい

- 本製品の対象年齢は10歳以上です。
- 回転しているプロペラは大変危険です。機体を人に近づけたり、ハンドキャッチは絶対に行わないで下さい。
- 飛行前には必ず機体を点検して下さい。飛行後も必ず機体を点検し、異常が認められる場合は修理を行うまで絶対に使用しないで下さい。

本製品はLi-Poバッテリーを採用しています

Li-Poバッテリーは小型、軽量、大出力の反面、安全に使い続けるためには適切な状態を保ち、特性上のリスクを考慮して使う必要があります。以下の注意事項を守り、正しくご利用下さい。

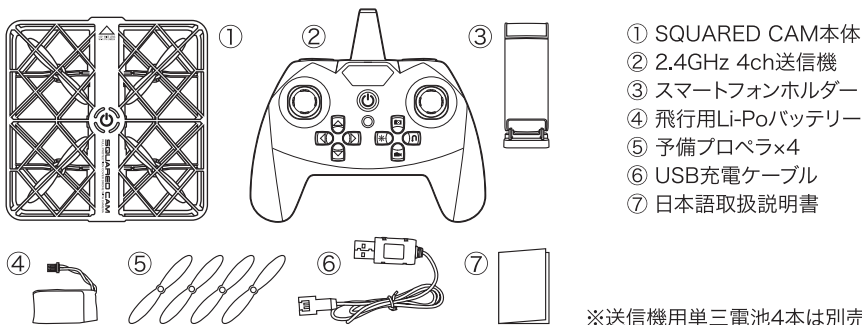
- 電圧降下のサインやパワー感の低下が現れたら使用はやめて充電して下さい。
- バッテリーに変形や匂い等の異常を見つけた場合、絶対に使用せず、廃棄して下さい。
- バッテリーは絶対に分解、改造をしないで下さい。
- 必ず専用の充電器を使い、充電中はその場から離れず、異常事態に備えて下さい。
- 充電完了後は必ず充電器から抜いて下さい。
- 利用後は必ず機体から外し、ある程度充電後、不燃性のケースに収めて下さい。
- 夏場の車内など60度以上の高温状態に放置すると破裂、発火の危険性が有ります。涼しく温度変化の少ない場所に保管して下さい。
- 長期保存の場合は満充電で保管せず、50%~80%程度の充電量にして下さい。保管後は1ヶ月に一度、充電→50%~80%まで減らす作業を繰り返して下さい。
- 使用できなくなったバッテリーは3%~5%程度の食塩水に数週間沈めて放電して下さい。容量がゼロであることを確認し、自治体のルールに則り廃棄をお願いします。

2. 製品について

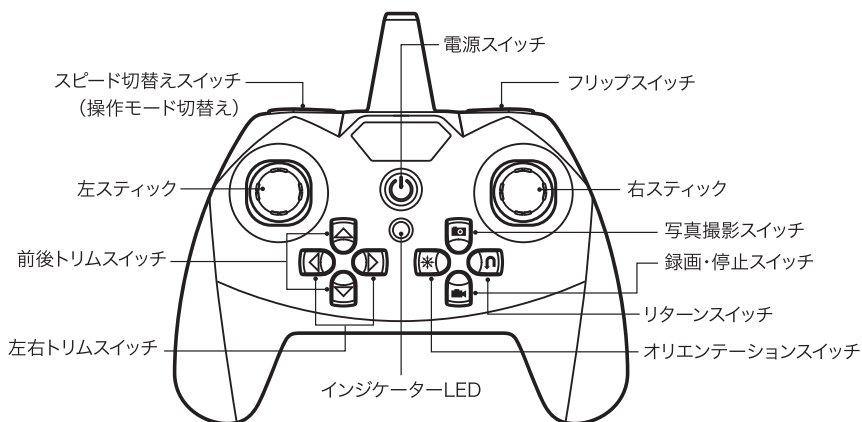
製品仕様

送信機	2.4GHz 4ch MODE1/MODE2切替え仕様		
全長	134mm	充電時間	約80分
全幅	130mm	飛行可能時間	約5~6分
全高	30mm	電波到達距離	約50m(送信機) / 40m(Wi-Fi)
重量	58g(バッテリー含む)	動画解像度	1280×720 (MOV形式)
プロペラ全長	58mm	写真解像度	1280×720 (JPG形式)
バッテリー	3.7V 450mAh	レンズ仕様	広角120°ワイドレンズ

内容物



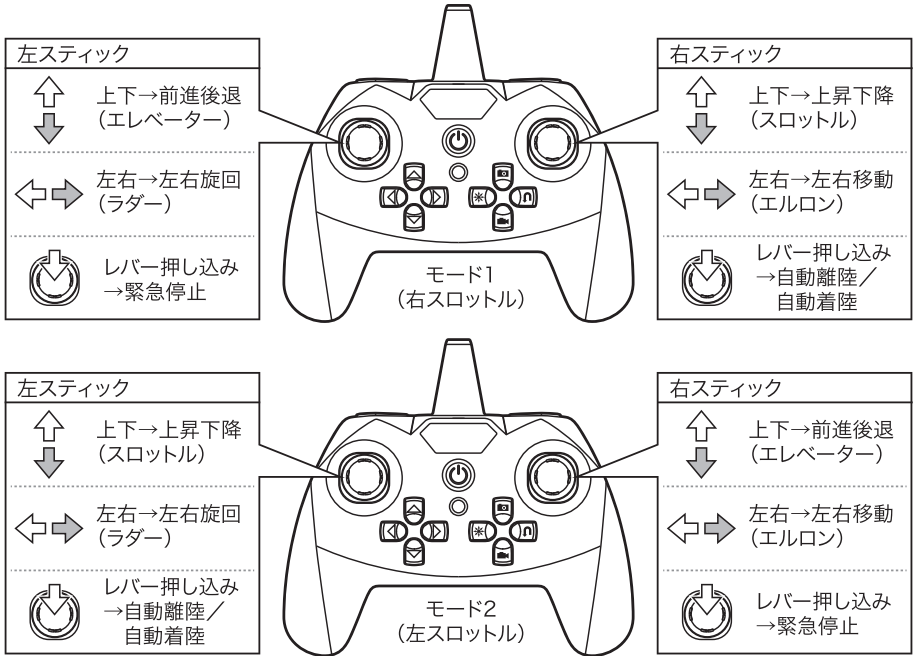
送信機各部名称



操作モードについて

当製品に付属の送信機では、ドローンの操作方法で主流のモード1とモード2のどちらの操作方法でもお使い頂く事ができます。

それぞれのモードで、スティックを動かした時の機体の挙動が大きく変わってきます。ドローンの操作が初めての方は、操作方法をよく確認の上、操縦に臨んで下さい。



用語について

マニュアル内に出てくる基本的な用語について説明します。

スロットル(上下)

機体を上昇させたり、降下・着地させたりといった「高度」を制御する動きです。スティックを上げると機体は上昇し、下げると下降します。

エルロン(左右)

機体を左右に動かす「左右移動」を制御する動きです。スティックを左に傾けると機体は左に、右に傾けると右に移動します。

エレベーター(前後)

機体を前後に動かす「前後移動」を制御する動きです。スティックを上げると機体は前に、下げると後ろに移動します。

ラダー(回転)

機首を左右に回転させる「回転運動」を制御する動きです。スティックを左に傾けると機首は左に、右に傾けると右に転回します。

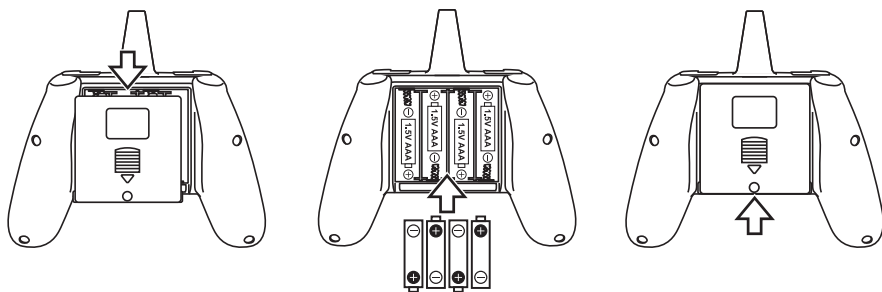
3. フライトの準備

送信機の準備とLi-Poバッテリーの充電

送信機に電池をセットする

送信機は単三乾電池4本(別売)が必要です。下図に従って正しい向きでセットします。

- ①電池カバーを外します ②単三乾電池を4本、図のように ③カバーをしっかりと閉じます
正しい向きにセットします



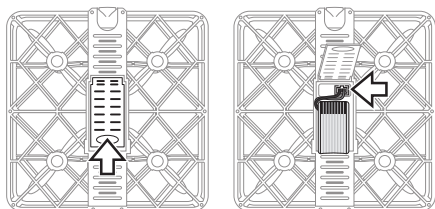
- 送信機に使用する単三電池はアルカリ乾電池をご使用下さい。充電式電池やマンガン電池を使用すると、電圧が異なるため、正常に使用できない場合があります。

機体バッテリーの取付け・取外し

購入時、機体のバッテリーは充電されていません。ご使用前に機体からバッテリーを取り外し、十分に充電を行ってからご使用下さい。

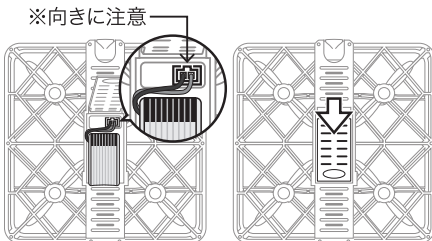
<バッテリーの取外し>

- ①バッテリーカバーを
図の方向にスライドさせ、
ロックを外します ②コネクタを抜いてバ
ッテリーを取り外しま
す



<バッテリーの取付け>

- ①バッテリーのコネク
タをつなぎます ②カバーを閉じ、図の
方向にスライドさせ、し
っかりロックします

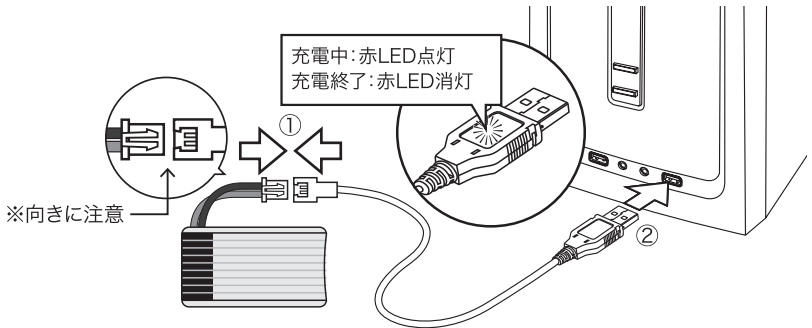


- バッテリーを外す際は、必ずコネクタ部を持って取り外して下さい。バッテリーを持って引き抜くと、断線する恐れがあります。

Li-Poバッテリーを充電する

使用する前に必ず充電して下さい。充電しないでフライトすると、過放電状態となり充電する事ができなくなります。また、リチウムポリマー電池は、使い方を誤ると、膨張、破裂または発火する可能性があります。以下の説明と、2ページの「安全上のご注意」を守り、正しくお使い下さい。

1. バッテリーのコネクタにUSB充電ケーブルを挿します。
2. USB充電ケーブルのUSB端子をPCのUSBポートに挿します。充電中は充電ケーブル内部のLEDが点灯、LEDが消えると充電完了です。
3. 充電完了後は速やかにバッテリーとUSB充電ケーブルを外して下さい。



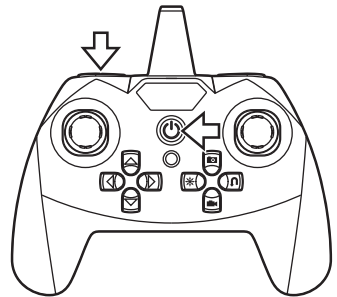
- 充電中はその場から離れず、異常事態に備えて下さい。
- バッテリーに異臭や変形、異常な発熱、発煙等の異常があった場合、直ちに充電を中止し、充電ケーブルをPCから取り外して下さい。
- 充電には、必ず付属の専用充電ケーブルをお使い下さい。
- 充電完了後はバッテリーと充電ケーブルをつないだ状態で放置せず、速やかにバッテリーと充電ケーブルを取り外して下さい。
- 市販のUSBアダプタやUSBハブを使用する場合、必ず1A以下の物をお使い下さい。

操作モードの変更

送信機の操作モードは標準でモード1に設定されています。モード2で使用する場合は、以下の手順で操作モードをモード1からモード2に切替えて下さい。

<モード2への切替え手順>

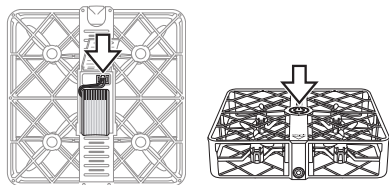
1. 操作モード切替えスイッチを押しながら電源スイッチを入れます。
2. 送信機から「ピッ」と音がし、インジケータLEDが点滅したら操作モード切替えスイッチを離します。



- モードの変更は送信機に記憶されません。モード2にする場合は、電源を入れるたびに上記手順を行なって下さい。

機体と送信機の接続 (バインド)

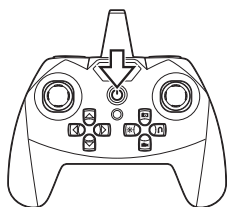
フライトを始めるには、機体と送信機をリンクさせる必要があります。このリンクさせる作業をバインドと呼びます。以下の手順に従い、正しくバインドを行って下さい。



1. バッテリーをつなぎ、機体の電源を入れる

機体にバッテリーをつなぎ、バッテリーカバーをしっかりと閉めます。

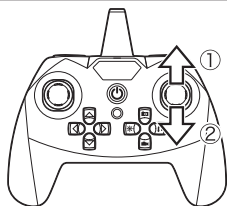
機体の電源スイッチを長押しすると、機体後部の緑LEDが点滅します。



2. 機体を水平な場所に置き、送信機の電源を入れる

機体を水平な場所に置き、安全のため1m以上離れてから送信機の電源を入れます。

※モード2で使用する場合は6Pの操作モードの変更を参照して下さい。



3. 送信機の右スティックを上→下と動かします

送信機から「ピッ・ピッ・ピーッ」と音がし、機体のLEDが点滅から点灯に変わればバインド完了です。

※モード2の場合は左スティックを上→下と動かします。



- バインドを行う前に、機体のバッテリーを充電して下さい。
- 本体に破損が無いのか、プロペラが4枚とも欠けや曲がりがないかを確認します。
- バインド中は機体を動かさない様ご注意ください。
- フライト終了後は必ず機体と送信機の電源を切り、機体からバッテリーを抜いて下さい。
- 長期間使用しない場合は、送信機から乾電池を抜き、機体のバッテリーは満充電後1～2分程フライトさせ、ある程度減った状態で保管して下さい。

プロペラの交換方法

プロペラの取付け位置には決まりがあります。取付け位置を誤ると、フライトができませんので、下記説明に従って正しい位置に取付けて下さい。

1. ドライバーで機体裏側の取り付けネジを全て外します。(図1)
2. プロペラを真上に引き抜いて外します。
3. プロペラにはAまたはBの刻印があるので、右図を参考にプロペラを正しい位置に取り付けます。(図2)

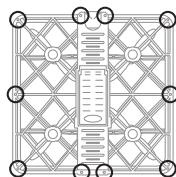


図1

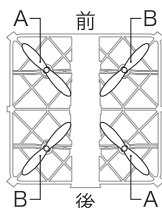


図2

4. フライトをはじめる

離陸と着陸

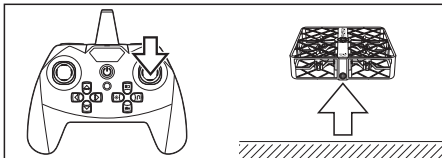
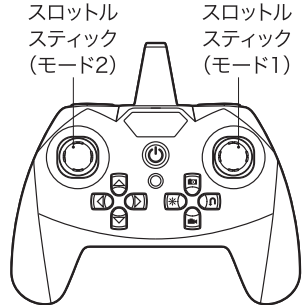
自動離陸 / 自動着陸

自動離陸:

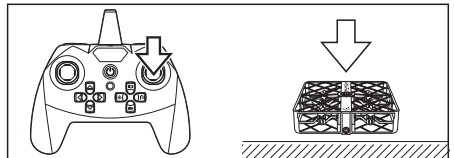
1. バインドされた状態でスロットルスティックを押し込みます。
2. プロペラが回転し、一定の高度まで機体が上昇します。

自動着陸:

1. 空中でスロットルスティックを押し込みます。
2. 徐々に降下してくるので、舵を切りながら任意の場所に誘導します。
3. 地面に接地後、停止するまで数回バウンドする事もあるので、プロペラが完全に停止するまで目を離さないで下さい。



スロットルスティックを押し込むと、自動離陸し、機体が一定の高度まで上昇します(図はモード1)



フライト中に再度スロットルスティックを押し込むと機体が降下し自動着陸します(図はモード1)
※降下中にスロットルを操作するとキャンセルされます

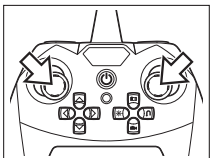
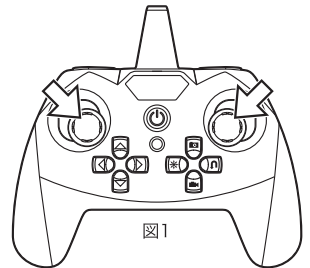
手動離陸 / 手動着陸

手動離陸:

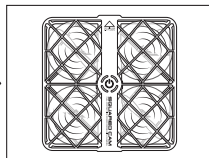
1. [左スティックを右下]、[右スティックを左下]に同時に保持すると、モーターが回転しアイドルリング状態となります。(図1)
2. スロットルスティックを上上げると上昇します。

手動着陸:

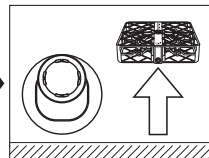
1. スロットルスティックを下に下げると降下します。
2. 機体が着地し、モーターの回転が完全に停止するまでスロットルを下に入れ続けて下さい。



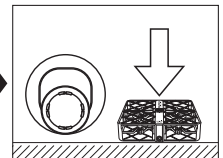
図のように左右のスティックを同時に保持します。



プロペラが回転します。(まだ機体は上昇しません)



スロットルスティックを上げると、機体は上昇。

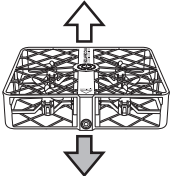


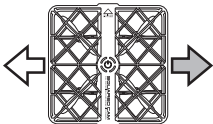
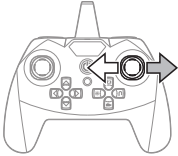
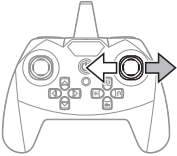
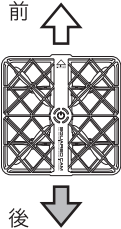


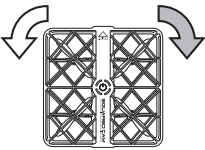




スロットルスティックを下に下げ続けると、機体が降下し着陸します。

基本操作

離陸後は左右のスティックを使い、機体を操縦します。操作モードによって操縦の仕方が異なりますので、下記操作方法をよくご確認の上、ご使用下さい。

操作モードは標準ではモード1で動作します。

操作方向	モード1	モード2	
			<p>上昇・降下(スロットル)</p> <p>スティックの上下操作で機体の上昇、降下を行ないます。スティックを離れた位置で高度を維持します。</p>
<p>前</p>  <p>後</p>			<p>左右移動(エルロン)</p> <p>スティックを傾けた方向に機体が傾き、左右の移動を行ないます。</p>
<p>前</p>  <p>後</p>			<p>前進・後進(エレベーター)</p> <p>スティックを傾けた方向に機体が傾き、前後の移動を行ないます。</p>
<p>前</p>  <p>後</p>			<p>左右旋回(ラダー)</p> <p>スティックを傾けた方向に機体が回転し、旋回動作を行ないます。</p>

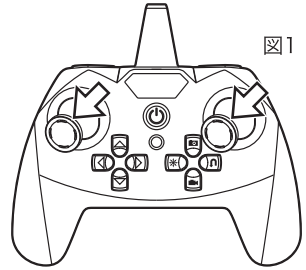


- 離陸後に機体が1方向に流れて行ってしまった場合は、ジャイロリセットをお試し下さい。
- 急に操作すると危険なので、慣れるまではゆっくり動かすようにしましょう。
- 何も操作していなくても気圧の変化により機体は上下します。室内でご利用の際は、扉の開け閉めなどに因る、気圧の変化にご注意下さい。

ジャイロリセット

フライト中に前後左右に機体が流れ、トリムでも改善できない場合はジャイロリセットを行う事で改善できる場合があります。

1. 機体をフライトできる状態にして水平な場所に置きます。
2. 左スティックを左下、右スティックを左下で同時に保持します。(図1)
3. 送信機から「ピーツ」と音が鳴り、機体のLEDが点滅したらスティックから指を離します。機体のLEDが点灯に変われば完了です。



スピードの変更

スピード切替えスイッチを押すとフライトスピードを変更する事ができます。スイッチを押すごとにモードが切り替り、3段階のスピード調整が可能です。(初期状態はノーマルモードになります)



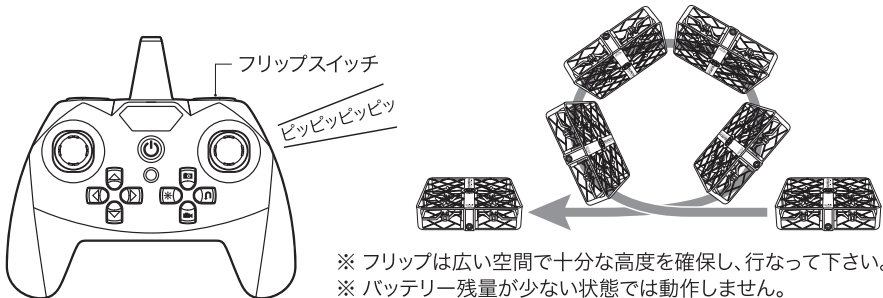
- 「ピピピッ」・・ハイスピードモード (上級者向け)
- 「ピピッ」……ミドルスピードモード (中級者向け)
- 「ピッ」……ノーマルモード (初級者向け)

※ 通常より機敏な動きができるようになりますが、操縦難易度が上がります。十分に練習を行ってからお試しください。

フリップ(宙返り)モード

フライト中にフリップスイッチを押すことで、宙返りが可能なフリップモードになります。アラーム音が鳴っている最中に再度フリップスイッチを押すとキャンセルされます。

1. フリップスイッチを押すと「ピピピピピッ」と連続したアラーム音が鳴ります
2. この間に左、または右移動を行うと移動した方向に宙返りアクションを行います



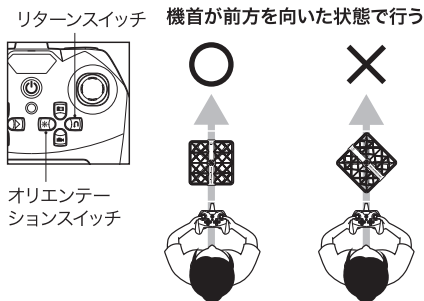
- ※ フリップは広い空間で十分な高度を確保し、行なって下さい。
- ※ バッテリー残量が少ない状態では動作しません。

オリエンテーションモードとリターンモード

オリエンテーションモード

オリエンテーションモード中は機首の向きに関係なく、エルロンスティックを左右に動かすと機体は左右に、エレバースティックを前後に動かすと前後に動くようになります。

1. 機体をフライトできる状態にします。
2. 機体を水平な場所に置き、機体と送信機が一直線に並んだ状態で、オリエンテーションスイッチを押して下さい。
3. 送信機から「ピーッ」という動作音が鳴り、機体のLEDがゆっくりと点滅すれば、オリエンテーションモードが有効になっています。
4. 再度オリエンテーションスイッチを押すとキャンセルできます。



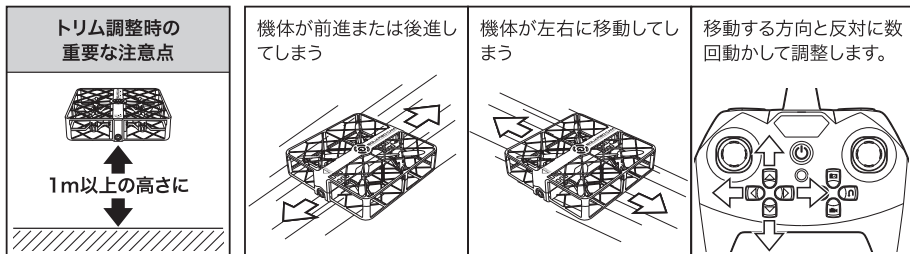
リターンモード

オリエンテーションが正しく機能した状態でリターンスイッチを押すと、機体が操縦者の方に戻ってきます。リターン中に舵を操作するとキャンセルできます。

トリム調整

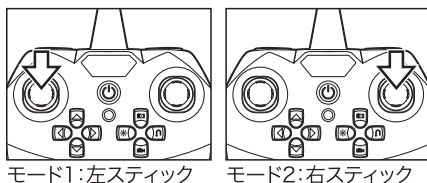
機体が上空に上がった際、スティック操作をしていない状態で前後左右に移動してしまうズレをトリムスイッチで微調整することができます。

トリム調整は、機体が1m以上の高さにある状態で調整する必要があります。地上付近では、自身が出す風の影響により正しく調整できないため、必ず1m以上の高度で行います。



緊急停止

スロットルスティックと反対側のスティックを長押しすると、プロペラの回転が止まり、緊急停止します。



5. アプリとの連携

スマートフォンとの接続

本製品はタブレットやスマートフォンと連携できるWi-Fiカメラを搭載しています。以下の手順でモバイル機器と接続する事で、リアルタイムの映像を見たり、写真や動画を撮影できるようになります。

アプリのインストール

お手持ちのスマホに専用アプリ「SQUARED FPV」をインストールします。

下記QRコード、またはAppStoreおよびGooglePlayから「SQUARED FPV」を検索し、ダウンロードとインストールを行なって下さい。



【iOS】



SQUARED FPV
iOS: 7以降、
Android: 4.2以上



【Android】

Wi-Fi接続

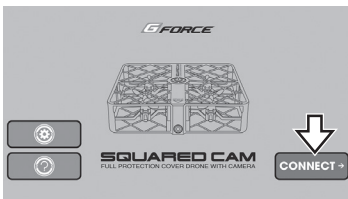
1. 機体をフライトできる状態にします。
2. 接続する機器のWi-Fi設定に入ります。
3. 新しく検出したアクセスポイント「Squared-XXXXXX」を選択します。

※接続時にエラーが表示される場合は、エラーの内容を元に端末のWi-Fi設定を見直し、改善しない場合は各メーカーへお訪ね下さい。

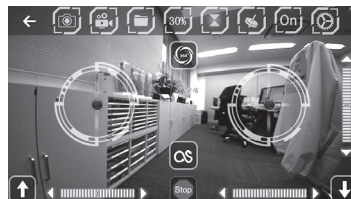


アプリの起動

1. インストールした「SQUARED FPV」アプリを起動します。
2. 初期画面の「CONNECT」をタップします。
3. 操作画面に映像が出てくれれば接続完了です。



初期画面



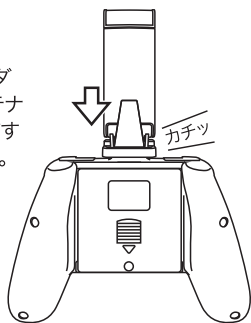
操作画面

スマートフォンホルダーの取付け

付属のスマートフォンホルダーを取付ける事で、スマートフォンの映像を見ながら遊べるようになります。

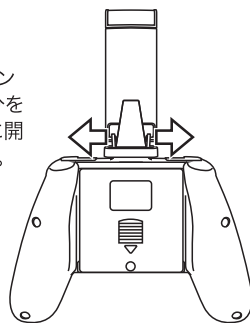
取付け方法:

スマートフォンホルダーを送信機のアンテナ部に「カチッ」と音がするまで差し込みます。



取外し方法:

右図のスマートフォンホルダーのブラ部分を外側に広げるように開いてツメを外します。



- ご使用前にスマートフォンがしっかりセットされているか、フライト前によく確認して下さい。使用中にスマートフォンが落下し、破損する恐れがあります。本製品の使用によって生じるいかなる損失、損害に関して弊社は一切責任を負いません。

アプリの説明

※アプリの画面、操作メニューは開発中の物です。バージョン等により変更される場合があります。

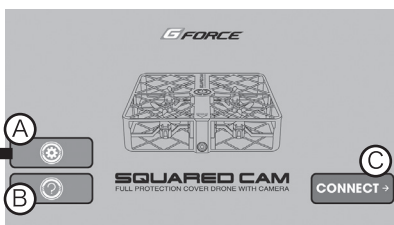
初期画面

初期画面から「A」のアイコンをタップすると、アプリの基本設定画面に移動します。

ここでは操作モードの変更等、各種設定を行なうことができます。

「B」のアイコンをタップすると簡易ヘルプに移動し、アプリの基本操作が確認できます。

「C」のアイコンをタップすると操作画面に移動し、撮影、操縦等の各種操作が行なえます。



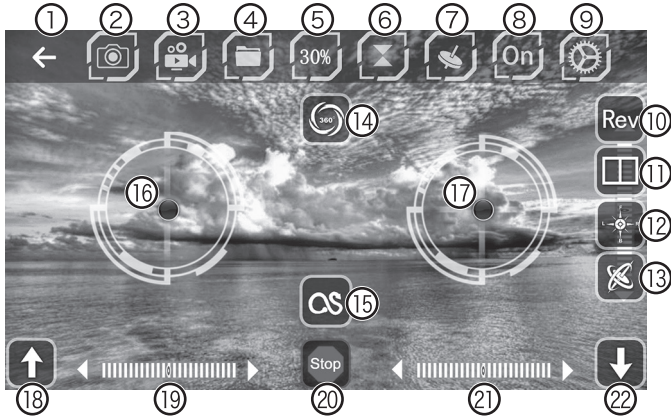
<基本設定メニュー>

- ①トリムオートセーブ
トリムの自動保存のON/OFF
- ②トリムリセット
トリムを初期値(中立)に戻します
- ③右スロットル(MODE1)モード
アプリでの操作モードを変更できます
(モード1⇄モード2)
- ④ソフトウェアバージョン
アプリの現在のバージョンです



操作画面

初期画面から「CONNECT」アイコンをタップすると操作画面に移動します。ドローンからの映像のライブ中継や撮影、ドローンの操作を行なうことができます。



※画面は開発中の物です。

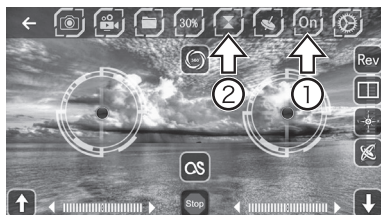
- | | |
|--|--|
| ① 前の画面に戻る | (詳細は11P参照) |
| ② 写真撮影
タップすると静止画が撮影できます | ⑬ ジャイロリセット
ジャイロキャリブレーションを行ないます
(詳細は10P参照) |
| ③ 動画撮影
タップで録画開始。もう一度タップすると録画が終了し保存されます | ⑭ フリップモード
空中で360度宙返りします
(詳細は10P参照) |
| ④ 撮影データ閲覧
撮影した写真、動画を確認できます | ⑮ トラッキングフライトモード
指でなぞったルートで飛行するモードです
(詳細は16P参照) |
| ⑤ スピードの変更
機体の動作速度を3段階で変更できます。
30%(低速)→60%(中速)→100%(高速) | ⑯ 左操縦桿
機体の操縦に使います |
| ⑥ 高度維持機能のON/OFF
スマホで操作する場合はONにします | ⑰ 右操縦桿
機体の操縦に使います |
| ⑦ チルト操作モード
スマホの傾きで操作するモードにします
(詳細は16P参照) | ⑱ 自動離陸スイッチ
タップすると機体が浮上します |
| ⑧ 操作パネルのON/OFF
スマホで操作する場合はONにします | ⑲ ラダートリム
機体のズレを調整します |
| ⑨ 追加メニューの表示/非表示
⑩～⑬のメニューを表示します | ⑳ 緊急停止スイッチ
プロペラの回転が止まり緊急停止します |
| ⑩ 映像の上下反転 | ㉑ エルロントリム
機体のズレを調整します |
| ⑪ 画面の左右分割表示 | ㉒ 自動着陸スイッチ
タップすると機体が降下し、自動着陸します |
| ⑫ オリエンテーションモード
機首の向きに関係なく操作できます | |

スマートフォンからの操縦方法

スマートフォンから操縦を行なう場合は、送信機とバインドされていない状態で接続して下さい。

はじめに操作画面で①をタップし、操作パネルを表示させます。続いて②をタップして高度維持機能をONにします。

これで操縦可能な状態になりました。



離着陸と緊急停止

自動離陸

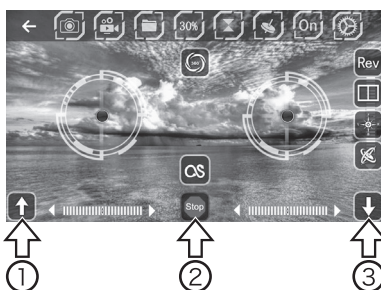
操縦可能な状態で①の自動離陸スイッチをタップすると機体が上昇し、一定の高度でホバリングします。

自動着陸

フライト中に③の自動着陸スイッチをタップすると、機体が降下し着陸します。

緊急停止

フライト中に②の緊急停止スイッチをタップすると、プロペラの回転が止まり、緊急停止します。



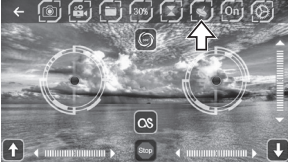
基本操作

操作方向	モード1	モード2	
			上昇・降下 (スロットル)
前 後			左右移動 (エルロン)
前 後			前進・後進 (エレベーター)
前 後			左右旋回 (ラダー)

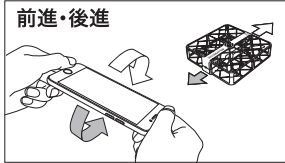
チルト操作モード

スマートフォンを水平に持ち、チルト操作モードをONにします。自動離陸で離陸後、前進後進、左右移動、この4方向の動作がスマホの傾きに連動して動作します。

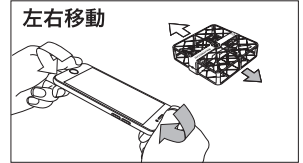
上昇・下降、左右旋回の場合はパネルのタッチ操作で行ないます。



アイコンが黄色に変われば、チルト操作モード。



前進・後進
スマホを奥に傾けると前進、手前に傾けると後進します。



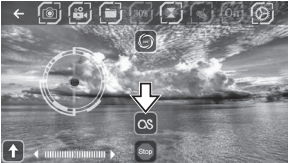
左右移動
スマホを左に傾けると左に、右に傾けると右にスライドします。

トラッキングフライトモード

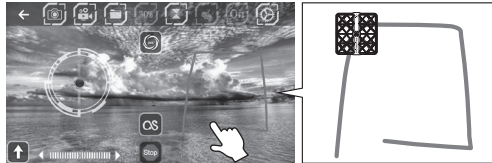
操縦可能な状態でトラッキングフライトモードをONにすると、トラッキングフライトモードになります。

自動離陸で離陸後、指で描いたルートに沿って飛行します。

上昇・下降の操作はパネルのタッチ操作で行ないます。



アイコンが黄色に変われば、トラッキングフライトモード。



スマホに描いたルートと同様の軌跡で機体が飛行します。

写真・動画の撮影

スマートフォンとの接続中、アプリ上のアイコンや送信機から写真や動画の撮影が行なえます。撮影したデータはスマートフォンに保存されます。

アプリから撮影する



① 写真撮影

タップすると写真(静止画)が撮影されます。



② 動画撮影

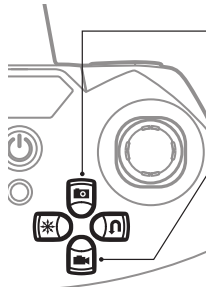
タップで録画開始。もう一度タップすると録画が終了し保存されます。



③ 撮影データ閲覧

撮影した写真、動画を確認できます。

送信機から撮影する



① 写真撮影

写真撮影スイッチを押すと、写真(静止画)が撮影されます。

② 動画撮影

録画・停止スイッチを押すと録画開始。もう一度押すと録画が終了し保存されます。

6. サポート情報

よくあるご質問(FAQ)

Q1. 機体にバッテリーをつないでも反応しない

- A1. 機体側のコネクタとバッテリーのコネクタが正しく接続されているか確認して下さい。
- A2. バッテリーは正しく充電されていますか？他のバッテリーでお試し下さい。
- A3. 機体についているON/OFFスイッチがONになっているか確認して下さい。

Q2. 機体が墜落・接触などによって反応しなくなった

- A1. 一旦機体からバッテリーを外し、再度バッテリーをつなぎ直してして下さい。
- A2. 機体の受信機は精密機器ですので、強い衝撃を受けると破損する場合があります。

Q3. 今までは問題なくフライトできていたが、突然不安定になった

- A1. LiPoバッテリーが劣化してくるとフライト時間が極端に短くなったり不安定な挙動になる場合があります。バッテリーを交換してみてください。
- A2. プロペラに変形や破損がないか確認し、問題がなければ一旦着陸させ、10Pの[ジャイロリセット]を行ってみて下さい。

Q4. フライト中、振動してしまう

- A1. ボディ・プロペラに破損や変形があると振動につながります、破損・変形がある場合は対象部位を交換して下さい。

Q5. プロペラを換えたなら離陸できなくなった

- A1. プロペラの向きを正しく取り付けないとフライトできません。プロペラの取付位置に誤りがないか、7Pの[プロペラの交換方法]でご確認下さい。

Q6. 1つだけモーターが回らなくなってしまった

- A1. モーターはフライトごとに劣化していきますので、交換が必要になります。モーターの回転方向に注意し、モーターを交換して下さい。

Q7. 他の送信機で飛ばすことはできますか？

- A1. 当製品の送信機は専用品ですので、他の送信機をご使用頂くことはできません。

Q8. 修理・調整を行ってもらえますか？

- A1. 恐れ入りますが、弊社では修理・調整は行っておりません。有償にて新しい商品と交換することは可能です。定価の60%(別途送料等ご負担頂きます)の価格で提供致します。販売店様または弊社サポートへお問い合わせ下さい。

Q9. 購入したばかりだが最初から全く動かないまたは最初から破損箇所がある

- A1. ご不便をお掛けし申し訳ございません。ご購入頂いた販売店様にまずご相談頂けますようお願い致します。必ず販売店様が発行された日付入りの領収書・納品書等をお手元に保管頂けますようお願い致します。

Q10. 機体単体で購入できないの？

- A1. 現在のところ機体単体での発売はございません。

Q11. 屋外で飛ばすのに免許や申請は必要ですか？

- A1. 本製品は【200グラム未満】になり、航空法で定める「無人航空機」には該当しません。映像伝送も2.4G帯Wi-Fi電波を利用しているため免許や申請は必要ありませんが、楽しく製品をご利用いただくために、取扱説明書の内容に従い、安全とプライバシーにご配慮下さい。

アフターパーツ

品番	JAN	品名
GB052	4580416460521	ボディセット(ブルー)[SQUARED CAM]
GB053	4580416460538	ボディセット(グリーン)[SQUARED CAM]
GB054	4580416460545	モーターセット[SQUARED CAM]
GB055	4580416460552	プロペラセット8枚入[SQUARED CAM]
GB056	4580416460569	LiPoバッテリー 3.7V 450mAh[SQUARED CAM]
GB057	4580416460576	受信機[SQUARED CAM]
GB058	4580416460583	USB充電器[SQUARED CAM]

※当社では個人のお客様への直接販売は行なっておりません。アフターパーツのお求めは、お取り扱い店舗様までお問い合わせ下さい。

製品サポートについて

保証・修理規定

保証については、初期不良品のみに対応となります。**保証を受ける際には領収書、レシート、納品書など購入時期を証明するものが必要**です。購入時期を証明できない場合には初期不良品としての対応は致しかねます。初期不良品につきましてはお手数ではございますが、弊社へお送り頂く前に事前にお電話にて弊社までご連絡頂けますようお願い致します。

ご使用後の製品の破損などによる修理依頼は新品への有償交換とさせていただきます。

※税込定価の60% (送料・代引手数料別)

初期不良交換、修理有償交換ともに付属品等を完備のうえでお送りください。欠品があった場合、交換対応をお断りさせていただくことがあります。

ご不明な点は弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

お問い合わせ先

製品カスタマーサポート: **03-6206-0059**

電話受付: 月曜日～金曜日(祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

受付時間: AM10:00～PM18:00

(弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承下さい)

<随時FAQをWebで更新しています。是非ご参照下さい>

www.gforce-hobby.jp

輸入販売元: 株式会社ジーフォース

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階



お問い合わせ先

製品カスタマーサポート: **03-6206-0059**

電話受付: 月曜日～金曜日(祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

受付時間: AM10:00～PM18:00

(弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承下さい)

※取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。

※最新情報は弊社WEBサイト (www.gforce-hobby.jp) でご確認ください。



輸入販売元: 株式会社ジーフォース
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階

当社に無断で複写・転写・転載を禁じます

Copyright © 2018 G FORCE, Inc. All Rights Reserved

